

潮 田

横浜市立潮田中学校 学校だより
令和元年度 第3号
令和元年6月28日発行



～サイレン、汐の香、英気は燃えて～

「^{みづ}水は^{とつぜん}突然あふれだす」

ふくこうちょう せきぐち まさお
副校長 関口 晶雄

^{まいにち}毎日、^{いってきいってき}一滴一滴の水を中が見えないコップに^{そそ}注いでいく。何日も注いでいるのに、コップは^{そこ}底なしのようにあふれることはない。しかし、注ぐことをやめてしまえばあふれることはない。

^{どりよく}努力は突然報われます。

見えないコップに水を入れると、外からは水が^ふ増えているのがわかりません。しかし、ずっと^{つづ}注ぎ続けると水は突然あふれ出します。

同様に、^{どうよう}努力の^{せい}成果は突然^{あらわ}現れます。少しが^{すこ}んばってダメだからと、すぐにあきらめてしまっても^{あらわ}成果は現れません。あと少しの努力で成果が出ます。

^{でんきゅう}電球、^{でんわき}電話機、^{ちくおんき}蓄音器、トースターなど、^{いじょう}1300以上の^{はつめい}発明をした偉大な^{いだい}アメリカの発明家トーマス・エジソンは、こう言っています。

「^{じんせい}人生における^{しっぱいしゃ}失敗者の多くは、^{おお}あきらめたときに^{せいこう}どれだけ成功に^{ちか}近づいていたかに気づかなかった人だよ。」

「ほとんどすべての人間は、もうこれ以上は^{いじょう}不可能だと思い、やる気をなくしてしまう。いよいよ、これからだというのに。」

「私たちの^{さいだい}最大の^{じゃくてん}弱点は、あきらめること。成功するために^{かくじつ}確実な^{ほうほう}方法は、常にもう1回^{つね}だけ^か試してみることだ！」

「努力はすぐに^{むく}報われるわけでない。失敗する人は、成果が出ないとすぐにあきらめてしまう人である。」

「失敗なんかしていない。これはうまくいかない方法を^{なにひやくとお}何百通りも見つけたのだ。これは、^{せいこう}成功だよ。失敗は成功のもと！」

エジソンは、電球を^{じっけん}発明するのに実験で10000回失敗したと言われています。

「^{ひつよう}ひらめきが必要。1%のひらめきがなければ、99%の努力は無駄^{むだ}である。」ただ努力するだけでは成功しない。^{かんが}考える努力が必要です。

^{ぶかつどうそうこうかい}部活動壮行会で各^{かくぶ}部が^{かか}掲げた^{もくひょう}目標が^{たっせい}達成できるよう、あきらめずに^{ねが}努力しつづけることを願っています。



部活動壮行会



6月21日、潮田中学校伝統の部活動壮行会が行われました。三年生を中心として、潮田中学校の横浜市総合体育大会ならびに各種大会・コンクールなどにおいて、より良い結果を出せるよう、互いに励まし合い、気持ちを高めあえる会となりました。各運動部は市総体に向けた目標を描いたアピール用紙を手に、各文化部も目標を掲げ、全校生徒へ決意表明をすることができました。

生徒総会

この生徒総会では生徒会からの追加議案として、学年生徒委員会と学校生徒委員会の名称変更と学校生徒委員会への全学級委員参加が出されました。

この議案を提案するために、生徒会本部役員や、各種委員会委員長たちが何度も話し合いを行い、議論を重ね、この生徒総会に臨みました。結果、両議題とも過半数を超える賛成票を得て、この案は職員会議でも承認され成立しました。

生徒たち一人一人が潮田中学校のことをより良くしてい

くためにはどんなことができるのか、真剣に考えることができたと思います。この議案の成立により、さらに生徒会活動が活発になっていくと思います。



3年生高校ワークショップ

6月14日（金）、3年生は特別時間割を組んで、高校ワークショップを行いました。今年もタイプの異なる8つの高校から参加いただき、説明会の体験をしました。自分が何を取り組んでいきたいのか、目標を実現するためにどんな進路を選択していけばいいのか考えていく一歩です。公立高校でも全日制普通科・単位制・クリエイティブ、総合学科、専門学科と多様化し、学ぶ内容も変わってきます。私立高校には建学の精神があり、校風に違いがあります。この違いをしっかりと学んで、これから始まる高校説明会や体験入学、公開行事への参加など様々な機会を選んで、自分に合った進路を見つけていきます。

各高校の先生方も目標を持って進路を選択してほしいと準備をして、同じ内容を2回説明していただきました。今年、参加いただいた8校は、川崎市立幸高等学校、横浜市立東高等学校、神奈川県立釜利谷高等学校、神奈川県立鶴見総合高等学校、神奈川県立向ヶ丘工業高等学校、横浜創英高等学校、武相高等学校、英里女子高等学校でした。このワークショップを機会に、自分の目標が見えてくるようになることが、駆けつけてくれた高校の先生方へのプレゼントです。自分に合った進路選択につながることを期待しています。



2年生横浜遠足

6月14日（金）に関内・桜木町方面を班別でまわり、横浜の文化や外国にルーツを持っている人たちの歴史について学ぶために横浜遠足に行きました。各班ごと約1か月の事前学習やルート決めを行い、班別学習を行いました。当日は天気にも恵まれ、笑顔あふれる校外学習になりました。

みなと博物館や開港資料館、横浜海外移住資料館では真剣なまなざしで横浜の歴史について学び、考える姿が見られました。楽しみにしていた中華街では肉まんや小籠包などをほおぼる姿が見られ、様々な横浜の魅力を満喫することができました。

最終チェックポイントの潮田公園に笑顔で帰着する姿を見て、仲間と協力した事前準備・事前学習や当日での生活を通してより多くの学び・経験を得たと思います。今回の横浜遠足を通して学んだことを活かし、これからの学校生活・校外学習に取り組んでいきましょう。

3Fホールには、横浜遠足の壁新聞が掲示されます。
どうぞご覧ください。



1ねんせいこうがいがくしゅう おか 1年生校外学習(ソレイユの丘)

6月14日(金) 1年生は初めての校外学習として、横須賀市にあるソレイユの丘に行ってきました。当日は晴天のもと、班別の野外炊飯やレクリエーション、クラス対抗の綱引きなど、仲間と協力し、楽しい思い出がたくさんできました。今回のスローガンである『コードブルー』(意味：臨機応変に行動し、仲間と課題を解決して、チームワークを高める。)を達成できたのではないかと思います。また、約1カ月前から班長、レクリエーション係、食事係、保健美化係に分かれて準備を進めてきました。必ず一人一役あり、責任をもって係活動やしおり作り等に取り組むことができました。実行委員や、各係の係長を中心に、休み時間等も使って積極的に話し合いを行う姿は立派でした。時間を守る、大きな声であいさつをする、班やクラスの人と協力するなど、集団生活で大切なことを学べた校外学習になりました。今後の学校行事や、日々の学校生活に活かし、子どもたちの成長につなげていきたいと思っています。



よてい これからの予定

- 7月1日(月) 授業研究会
- 7月2日(火) 鶴見区子ども平和スピーチコンテスト
- 7月11日(木)～7月17日(水) 個人面談
- 7月12日(金) 学校家庭地域連携事業実行委員会
- 7月19日(金) 1学期終業式
- 7月20日(土)～8月26日(月) 夏季休業
- 8月4日(日) 親子スポーツ
- 8月5日(月)～8月16日(金) 学校閉庁日
- 8月27日(火) 2学期始業式

※ホームページでも情報を提供させていただきますので、ご覧ください。



潮田大祭、ならびに地区懇談会では、各地区の皆様のご理解とご協力ありがとうございました。地区懇談会の報告については第4号に掲載予定です。